

2022年5月15日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第65巻第5号(通算3287号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

かみさま ひととも
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師
担任教師・水谷 憲 牧師
隠退教師・小林 達夫 牧師

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書11:25)

復活節 第5主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

前奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 23編 1-3節

賛美歌 21-456番「わが魂を愛するイエスよ」(©讚美歌編集委員会)

聖書 ヨハネによる福音書 10章 22-30節

お祈り

賛美歌 21-459番「飼い主わが主よ」(©讚美歌編集委員会)

メッセージ 「はっきり言ってはっきりしない」 岡嶋 千宙 伝道師

賛美歌 21-543番「キリストの前に」(©教団出版局/JASRAC)

主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

献げ物 (*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 岡嶋 千宙 伝道師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 23 編 1-3 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹ 賛歌。ダビデの詩。

主は私の羊飼い。

私は乏しいことがない。

² 主は私を緑の野に伏させ

憩いの汀いこ みぎわに伴われる。

³ 主は私の魂を生き返らせ

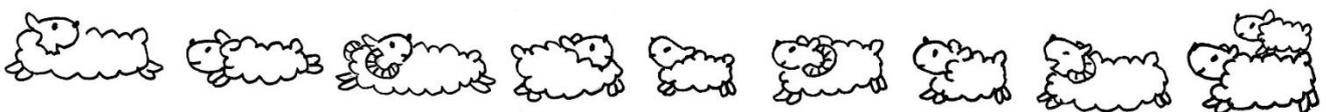
御名みなにふさわしく、正しい道へと導かれる。

聖書 ヨハネによる福音書 10 章 22-30 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

²² その頃、エルサレムで神殿しんでん奉献記念祭ほうけんきねんさいが行われた。冬であった。²³ イエスは、
神殿の境内けいだいでソロモンの回廊かいろうを歩いておられた。²⁴ すると、ユダヤ人たちがイエ
スを取り囲んで言った。「いつまで私たちに気をもませるのか。もしメシアなら、
はっきりそう言いなさい。」²⁵ イエスはお答えになった。「私は言ったが、あなた
がたは信じない。私が父の名によって行わざう業が、私について証しをしている。
²⁶ しかし、あなたがたは信じない。私の羊ではないからである。²⁷ 私の羊は私の
声を聞き分ける。私は彼らを知っており、彼らは私に従う。²⁸ 私は彼らに永遠の
命を与える。彼らは決して滅びず、また、彼らを私の手から奪う者はいない。
^{29a} 私に彼らを与えてくださった父は、すべてのものより偉大であり、誰も彼ら
を父の手から奪うことはできない。³⁰ 私と父とは一つである。」

(脚注 a：異本による。

ギリシア語原典では「父が私に与えてくださったものは」)



《先週のメッセージより》2022年5月8日家族の日（復活節第4主日）礼拝

「命を捨てる」

水谷憲牧師

聖書 ヨハネによる福音書 10章7-16節

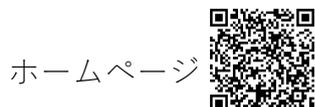
観光船の事故、山中からの遺骨発見、そしてウクライナ。心痛む出来事が多く起こっている。今日は「家族の日」、世間的には「母の日」と呼ばれる日。事故や事件、戦争の犠牲者にも家族が、母がある。「代われるものなら自分が代わってあげたい（あげたかった）」といった、心を焼かれるような思いの方々を想う。

イエスは「私は門である。私を通して入る者は救われ、また出入りして牧草を見つける」と言う。私たちがキリストという門をくぐった時、私たちは死んだようないのちから生きる喜びにあふれたいのちへと変えていただいた。それは、過去の一回きりの思い出などではない。私たちがキリストという門を通る度に、私たちは「絶望から希望へ」――必ずしも今が絶望というわけでもなくとも、心が新たに希望で満たされるような――そんな経験をしてきたし、今もしているのではないか。さらに私たちがキリストという門をくぐる時、私たちは苦難の多いこの地上から永遠のいのちを与えていただける天上へも必ず連れて行っていただけるのだ。申命記 28 章で神は、もし私たちが神のみ声に従い、戒めを守るならば、私たちはどこにしようと大きく祝福される、と言われるが、キリストは、私たちが神のみ声に従い、戒めを忠実に守ることができていなくても、羊の門であるキリストを通して入るだけで、私たちは死から生、絶望から希望へと救いあげられ、平安が与えられるのだと言うのだ。私はそのために来たのだから、と。

そして、11 節と 14 節には繰り返し「私はよい羊飼である」というイエスの言葉。これは決して自分を自慢しているわけではなく、イエスのキリストとして・羊飼としての決意の現れなのではないか。イエスは「羊のために命を捨てる」と、これも 2 度繰り返して言っているが、それは「どんなことがあっても、あなたを決して置き去りにはしない」「あなたのためなら命を捨ててもいい」という意味なのだ。

この世のあらゆる宗教においては、愛の教えが説かれている。しかし崇拜の対象である存在、この場合では神が、その命を捨ててまで人を救いに導いた、それほど愛というものは、このイエス・キリストの十字架の出来事以外にはない。私たちはそのことを誇りにして、「あなたのためなら命も捨てる」と言ったださるキリストに、これからもまして全てを委ね、苦しい時にも一生懸命すがっていきたい。愛する者の苦しみも、私の悲しみも、キリストは共に引き受けてくださるのだから。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。



◎ 先週の報告 5月8日家族の日礼拝（復活節第4主日礼拝）

主日礼拝出席 大人 8名 中継動画再生数 12回
 献金 大人 6,219円 感謝
 服部墓地・墓前礼拝 大人 8名 感謝

暑いくらいの晴天に恵まれた中、皆さんの納骨式も、執り行うことができました。どうもありがとうございました。

◎次週 2022年5月22日（日）復活節第6主日礼拝

招きの詞 詩編 30編 12-13節
 聖書 ヨハネによる福音書 16章 12-24節
 メッセージ「苦しみが喜びに変わる日を待ち望む」牛田匡牧師
 賛美歌 21-4番（©讚美歌委）、21-425番（©JASRAC）、21-540番（©P.D.）
 礼拝はインターネットで中継配信いたします。礼拝後には、釜ヶ崎・生活困窮者支援のためのおにぎりを作り、いこい食堂に届けます。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に「聖書を読む会」を行います。テキストは『創世記』35章です。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染は依然として続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・5月21日（土）14時～16時に、オンラインで上間陽子さんの講演とトークセッションが開催されます（主催：日本YWCA平和・核委員会）。上間陽子さんは、沖縄の少女たちの現実を描いた著書『海をあげる』で、「Yahoo!ニュース|本屋大賞2021 ノンフィクション本大賞」を受賞されました。現在も沖縄に暮らし、未成年の少女たちの支援・調査に携わり、琉球大学教育学研究科で教員をしながら、シェルター「おにわ」の共同代表も兼ねておられます（※シェルター「おにわ」の施設名の由来は「おきなわの」「にんしんしているおんなのこたちを」「わになってまもる」、三つ区切ったフレーズの頭文字）。上間さんの講演（1時間）の後、上間さんとユース・ミドル世代のトークセッション（30分）を企画しています。『海をあげる』を読まれた方も、これから読まれる方も一緒に、上間さんの声に耳を傾け、自分事として沖縄を、そして平和とは何かを考えてみませんか。詳細・お申し込みは下記YWCAのウェブサイト <https://www.ywca.or.jp/news/2022/0412news> もしくは右のQRコードより。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
5/22	牛田牧師	おにぎり支援
5/29	岡嶋伝道師	誕生者祝福式
6/5	岡嶋伝道師	ユーカリスト?・教会を考える会
6/12	牛田牧師	(教会創立記念礼拝)花の日こどもの日